

須山暢大

一本に込めた日々
音で答える一瞬

尾張拓登

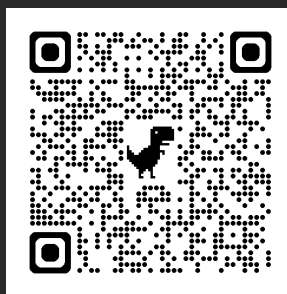
8月28日(木)

VIOLIN
duo recital

開演 19:00 開場 18:30

ご予約↓

チケット 2000円



bato no nikai

大阪府中央区島町2丁目1-5 2F

須山暢大、尾張拓登が
KENICHI BATO、
TAKAYUKI BATOの
作品を奏でる。



佐々木有紀
(ピアノ)

PROGRAM

- | | |
|-----------------|---|
| J.S.バッハ | 2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043 |
| プニャーニ
クライスラー | ラルゴ・エスプレッシーヴォ
前奏曲とアレグロ |
| モシュコフスキー | 2つのヴァイオリンとピアノのための組曲 ト短調 Op.71
etc... |

VIOLIN

duo recital

一本に込めた日々、音で答える一瞬

BATO兄弟がそれぞれ制作したヴァイオリンの美しい音色を
ヴァイオリニスト 須山暢大と尾張拓登による共演でお楽しみください。



須山暢大 SUYAMA NOBUHIRO | ヴァイオリン

都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。第1回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第2位。シオン・ヴァレ国際ヴァイオリンコンクール入賞。ヴァイオリンをG・フェイギン、G・ブーレ、S・アシュケナーズ各氏に師事。これまでに、サイトウキネンオーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ、赤穂・姫路国際音楽祭プレコンサート等多数出演。ソロ・ヴァイオリン、コンサートマスターを務めたCD「CHAMBER MUSIC PLAYERS OF TOKYO IN 紀尾井ホール」がレコード芸術の特選盤に選ばれる(オクタヴィア・レコードより好評発売中)
現在、大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。



尾張拓登 OWARI TAKUTO | ヴァイオリン

4歳よりヴァイオリンをはじめ。桐朋女子高等学校音楽科を経て、東京学芸大学教育学部卒業。第60回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位、全国大会第3位。第11回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。第14回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。ヴァイオリンを村山英孝、多賀白、市川映子、加藤知子、荒井雅至、小森谷巧、小川有紀子、松実健太の各氏に師事。新日本フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、パシフィックフィルハーモニー東京など各地のオーケストラに首席奏者として客演し、2023年より大阪フィルハーモニー交響楽団のアシスタントコンサートマスターに就任。ARKフィルハーモニックメンバー。Eテレ放送のTVアニメ「青のオーケストラ」に佐伯直役の演奏で参加するなど活動の幅を広げている。



佐々木有紀 SASAKI YUUKI | ピアノ

7歳よりピアノを始め、11歳でオーケストラとピアノ協奏曲を共演。桐朋学園大学附属子供のための音楽教室を経て、相愛高校音楽科、同大学音楽学部ピアノ専攻を首席卒業。桐朋学園大学院大学修士課程を修了。国内外多数のマスタークラスに参加。多くのリサイタルを開き、室内楽においても幅広く取り組む。在阪オーケストラのメンバー他、ニューヨークフィルメンバーなどのリサイタルピアニストを多数務め国内外の演奏家と共演。近年では大阪クラシック等の人気シリーズにも出演している。2021年には京都芸術大学こども芸術学科特別講義の講師を務め、現在は自宅教室とラコルノミュージックサロンにおいて後進の指導もおこなっている。



馬戸健一 BATO KENICHI | 職人

1976年、大阪府生まれ。1994年、大阪市立工芸高校(木材工芸科)を卒業し、父が経営する「弦楽器BATO」にて仕事を開始。1995年、「バイオリン工房クレモナ」(高槻市)に一期生として入学し、本格的に製作技術を習得。1999年、G.B.モラッシー、G.スコラー、岩井孝夫、鈴木郁子らによるディプロマを取得。同年、イタリア・クレモナで伝統的なクレモナスタイルを学ぶべくS. CONIA氏に師事。2004年より「LIUTERIA-BATO」にて制作・修理業務に従事。同店舗の代表取締役社長としても活躍中。令和元年5月に父からその座を引き継いだ。葉加瀬太郎さんや功刀丈弘さんなど著名な演奏家の愛用楽器を手がけた実績もある。



馬戸崇之 BATO TAKAYUKI | 職人

1981年、大阪で生まれる。2000年、高校卒業後に「弦楽器BATO」で1年間の修行・研修。2001年、「バイオリン工房クレモナ」(高槻市)に入学し、マエストロ岩井孝夫・鈴木郁子の両師に師事。2005年、同校を卒業し、ディプロマを取得。2005年、有限会社LIUTERIA-BATOに入社し、弦楽器(バイオリン・ビオラ・チェロ)の製作や修理・メンテナンス・販売などに従事。2006年、イタリアの「ANTONIO STRADIVARI」国際三年フェスティバル(XI CONCORSO TRIENNALE INTERNAZIONALE DEGLI STRUMENTI AD ARCO)にてディプロマを取得。2011年、イタリアへ約3か月滞在し、S. CONIA師の工房に通いながら、語学と現地の製作スタイルを学ぶ経験を積む。コンクールにも挑戦しながら、弦楽器製作の腕を磨き続けている。地元・大阪にあるLIUTERIA-BATOを拠点に、制作と日々の活動を継続中。